



# テンダイウヤク [天台烏薬]

常緑 / 低木 / 木本植物 / 外来種



**科名** クスノキ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや遅い、雌雄異株

3～4月、葉腋に小さな黄色い花が密集するように咲く。雌雄異株で10～11月に雌株の実が黒く熟し、こぼれ種からよく発芽する。根は樟脳に似た芳香があり、健胃として漢方薬に処方される。中国原産の樹木で丸味のある葉を密生させるため、生垣や目隠しに利用される。



## Memo

中国原産。江戸時代に薬用として渡来したが、現在では九州、和歌山、大阪などで野生化している。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期				■									
果 実										■			
紅 葉													
施 肥				(痩せ地でなければ不要)									
剪 定		■					■						■

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壌	乾		○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						

### ポイント

日当り、水はけ、風通しのよう場所を好む。寒さは苦手だが、土質を選ばず肥料はほとんど必要ない。雌株で成熟した種はよく発芽するので、早めに除去するとよい。

### 剪定

生長が遅く、細かい枝を密につけるので、刈り込みやすい。関東以西の暖地であれば刈り込んででも直に萌芽する。

### 病虫害

病虫害は少ない。